

第1学年社会科学習指導案

平成26年10月10日(金) 5校時 1年A組教室

1年A組(男子19名、女子15名 計34名)

授業者 教諭 佐藤護

【個人研究テーマ】

多面的・多角的に事象を捉え、自らの意見をまとめることができる生徒の育成

1 単元名 第3章 3節アフリカ州 2アフリカの産業と新たな開発

2 単元の目標

- (1) アフリカの自然や文化に興味・関心を持ち、意欲的に課題に取り組んでいる。
- (2) アフリカの地域的特色を資料から適切に読み取り、多面的・多角的に考察する。
- (3) アフリカの地域的特色を適切にまとめ、表現しようとしている。
- (4) 統計やその他資料から、アフリカの地域的特色や課題を理解しようとしている。

3 指導計画(全6時間)

- ・アフリカの自然と気候・・・・・・・・1時間
- ・アフリカの歴史と植民地・・・・・・・・1時間
- ・アフリカ産業の特色・・・・・・・・1時間
- ・貿易ゲーム(カカオ)・・・・・・・・1時間
- ・アフリカの課題・・・・・・・・1時間
- ・アフリカの展望・・・・・・・・1時間(本時)

4 本時の目標と評価規準 [学習指導要領との関連]

- (1) アフリカが直面する課題を、「貧困」という視点から考察し、どのような支援が必要か根拠を持って考え、表現している。(社会的な思考・判断・表現)

[(1) 世界の様々な地域 イ 世界各地の人々の生活と環境

世界各地における人々の生活とその変容について、自然および社会的条件と関連づけて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。]

5 本時の困難度査定(予想される生徒のつまづき)

- ・発展途上国に対する先進国の支援方法を、資料で示した現状と課題から連想することができない。

6 本時の指導構想

【説明する】	【理解確認】	【理解深化】
アフリカと日本との関わり、支援の内容について説明する。	日本の支援についてペアで説明し合う。	支援方法について、根拠を持って優先順位をつけさせ、表現させる。
<目標に達しない生徒への手立て>		
・学び合い活動の中で、指導目標の達成を図る。		
・資料読み取りの視点を具体的に与え、考えさせる。		
【自己評価】		
貧困を解決するためには、資金の援助だけではなく、実情に合った支援を考えていかなければいけないことを振り返らせる。		

7 本時の展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点
説明 15分	1 日本の支援における課題を資料から読み取る。 2 学習課題の設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> アフリカの貧困を救うために何をすべきだろうか。 </div> 3 学習課題に対する具体的な支援策を把握する。 ①保健・衛生 ②産業の転換 ③教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーナ国を取り上げ、日本の支援における課題に気付かせる。 ・これまでの学習から、各項目の課題を振り返らせる。
理解 確認 3分	4 日本の支援が世界から非難される理由をペアで確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とアフリカの関わりについて、ペアで説明させ、評価を行わせる。
理解 深化 25分	5 アフリカを貧困から救うために必要な支援の優先順位を考え交流する。 (1) 自分の考えをまとめる・・・個人 (2) グループ交流 ①グループ内 ②他のグループ (3) 全体交流 ・・・・全体	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換では、議論することで考えを深めさせる。 ・根拠を持って説明できるようにまとめさせる。 ・「支援をしないという支援」を提示する。
自己 評価 7分	7 振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・与えるだけでなく、育てるために支援をすることが大切である。 ・本当に必要としている支援をするには、その国の様子を知り、具体的な支援を決めることが大切である。 </div> 8 交流	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードに記入